

「^{あい}I (私・愛) メッセージを伝えるために ~依存症と自殺~」

日本では、年間 3 万人近くの方が自殺によって亡くなられています。北九州市でも年間 200 人を超える方が自死されており、その数は決して少なくありません。今回は、自殺のリスクが高い依存症をテーマとして、依存症に悩む家族支援や市内の依存症回復施設の紹介等を行います。依存症の回復について、一緒に考えてみませんか。

開催日 平成 27 年 3 月 21 日 (土)

13:30 ~ 16:00

参加
無料

プログラム

13:30 主催者あいさつ・オリエンテーション「北九州の自殺の現状」
北九州市立精神保健福祉センター 所長 三井 敏子

13:45 講演
講師 吉田精次 (精神科医) 藍里病院 副院長

平成 13 年からアルコール・薬物依存症臨床医研修を久里浜アルコール症センター、国立精神神経センター、肥前療養所、ロスアンジェルス・マトリックス研修などを受講し、依存症治療を開始。平成 19 年からギャンブル依存症の治療も開始。現在は依存症全般を専門として治療にあたっている。依存症問題に悩む家族のための強力な援助プログラムである CRAFT を全国的に広める活動を行っている。



14:55 シンポジウム
依存症回復施設 (北九州 DARC・北九州 MAC) の紹介
家族・当事者の体験談 他

16:00 閉会

会場 北九州市総合保健福祉センター 2 階 講堂 (北九州市小倉北区馬借 1-7-1)

対象 どなたでも参加できます。

定員 120 名 ※事前申し込みが必要。

申込方法 裏面の申込書を郵送または FAX で送付してください。

お問い合わせ 北九州市いのちとこころの支援センター (北九州市立精神保健福祉センター内)

Tel: 093-522-8729 Fax: 093-522-8776

主催 北九州市、特定非営利活動法人 北九州 DARC、地域活動支援センター 北九州 MAC

後援 福岡県警察本部、福岡労働局、福岡県弁護士会北九州部会、法テラス北九州、(公社)北九州市医師会、(公社)北九州市薬剤師会、(学)産業医科大学、(一社)福岡県精神科病院協会北九州ブロック会、(一社)福岡県精神神経科診療所協会、北九州商工会議所、(一社)北九州中小企業経営者協会、(福)北九州いのちの電話、(福)北九州市社会福祉協議会、北九州市民生委員児童委員協議会、福岡県臨床心理士会、北九州地区精神保健福祉士協会、リメンバー福岡自死遺族の集い (順不同)

「^{あい}I (私・愛) メッセージを伝えるために ～依存症と自殺～」

申込方法 郵送またはFAXにて下記あて先に **3月13日(金)** までにお申し込みください。

申込先 **北九州市いのちとこころの支援センター あて**
(北九州市立精神保健福祉センター内)

〒802-8560 北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号

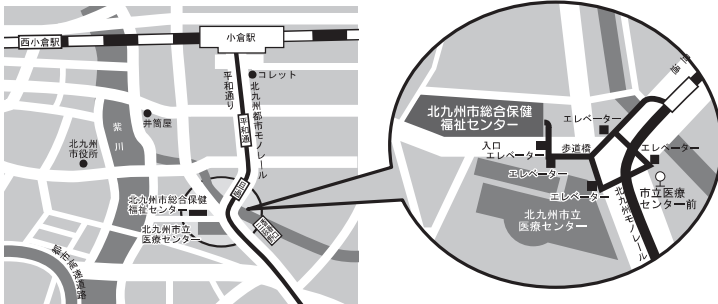
FAX : 093-522-8776

氏名	所属 (所属のある方はご記入ください)	連絡先 (電話番号)

※先着順。ご参加いただけない場合のみ連絡をいたします。

会場 **北九州市総合保健福祉センター (アシスト21) 2階 講堂**
北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号

交通のご案内



- JR「小倉」駅より徒歩15分
- 西鉄バス「市立医療センター前」バス停より徒歩約1分
- モノレール「旦過駅」より歩道橋で総合保健福祉センター2階に直結

※総合保健福祉センターの地下駐車場のご利用はご遠慮下さい。

ダルク 北九州 DARC

薬物依存回復支援施設

ダルクとは、毎日グループセラピーを行いながら、薬物依存から回復したいと望む仲間の集まる場所です。「今日一日」薬物を使わずにいられるよう同じ依存症の仲間同士で支え合って、生活訓練、運動、レクリエーションなどを行い、回復を目指しています。

<お問合せ>

TEL&FAX 093-923-9240

<ホームページ>

<http://www.k-darc.jp/>

マック 北九州 MAC

依存症リハビリテーションセンター

北九州マックは、アルコール依存症やギャンブル依存症、その他のすべての依存症からの回復と成長を目指している方たちをサポートしていくための活動を行っています。生活訓練や、相互支援グループへの参加など依存症の回復に向けた取り組みを行っています。

<お問合せ>

TEL 093-967-7691 FAX 093-967-7692

<ホームページ>

<http://japanmac.or.jp/kitakyushumac/>